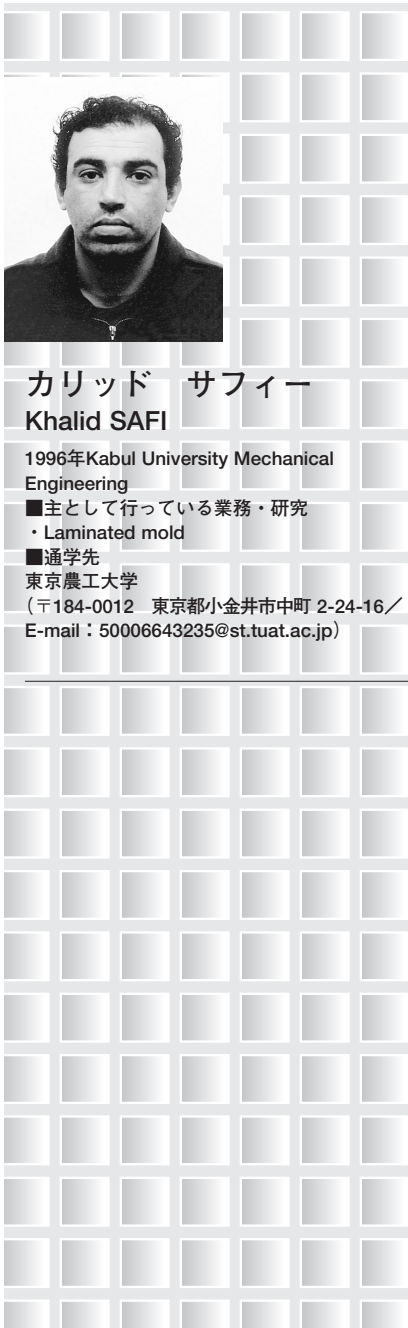


留 学 生 通 信

カブール大学と東京農工大学の 教育システムの比較

Comparison between Faculty of Engineering of Kabul
University and Mechanical System Engineering of
TUAT Education System



カリッド サフィー
Khalid SAFI

1996年Kabul University Mechanical
Engineering

■主として行っている業務・研究
・ Laminated mold

■通学先

東京農工大学

(〒184-0012 東京都小金井市中町 2-24-16/

E-mail : 50006643235@st.tuat.ac.jp)

1 はじめに

私は2005年10月に東京農工大学の学生としてアフガニスタンから日本に来た。日本の大学に在籍し始めて、私は東京農工大学と私の母校カブール大学の教育システムにいくつかの相違があることに気づいた。アフガニスタンは中東と東アジアの交差点に位置する内陸国である。南と東をパキスタン、西をイラン、北をトルクメニスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、東を中国と接している。

「アフガニスタン」は「アフガン人の国」という意味である。アフガニスタンは647 500平方キロメートルの国土を持ち、首都はカブールである。

2 入学試験

カブール大学には1年に1度入学試験がある。しかし、各学部に専門的な試験があるのではなく、全学部で共通な試験がある。学生の選抜は100%彼らの希望に沿うものではなく、入学試験の点数と各学部の定員によって決まる。たとえ学生が工学部で勉強したくなくても入試の点数次第では工学部に入学しなければならない。それに、入試の結果発表には数箇月もかかるのである。東京農工大学は工学と農学を勉強したい学生に対して開校されている。そして、たった数日で入試の結果発表が行われるのである。

3 授業プログラム

学部生は3年半授業を受ける。その後、半年間は国が要求する研究テーマに基づいて大学以外の研究機関で研究する。さらにその後もう1年間授業を受け、5年後に学部生は卒業を迎える。このプログラムはアフガニスタンだけのプログラムであり、他の国とは異なる。私はこのプログラムを変えなければならないと考えている。5年間ではなく、4年間で卒業できるようにすべきである。東京農工大学では、学部生は3年間授業を受ける。その後、1年間は学生自身が選択した分野を学内の研究室で研究する。そして4年後に卒業を迎える。

4 大学での勉強時間

カブール大学では学生は8時間しか勉強できない決まりがある。つまり、8時間以降は、実験や大学のキャンパス内での勉強ができないのである。この決まりは学生を怠けさせる。東京農工大学では、学生は1日中いつでも勉強や実験を行うことができ、日本の学生はとても熱心に勉強や研究に取り組んでいる。彼らには、大学が

決めた時間以上に勉強や研究を行うチャンスがある。

5 授業料

カブール大学では、学生は大学に対して授業料を払わない。授業料はすべて政府によって支払われるのである。私は大学に対し少量の授業料を払うほうが良いと考えている。なぜなら、その行為は大学の予算を増加し、教育の質を上げることができるからである。東京農工大学では、すべての学生が毎年授業料を支払っている。そのため、日本の大学は教育の質が良いのである。

6 学生の研究方法

カブール大学では、技術者が学生に実験装置や器具の使い方を教えている。また、学生が勉強や実験で困難に直面すると彼らは教授に相談する。上級生が下級生の面倒をみることはない。それに、下級生は実験や学問での問題点を解決するために仲間同士で話し合うこともない。東京農工大学では、上級生は常に下級生の相談に乗ったり、実験装置の使い方を教えている

のである。このことは私を驚かせた。この方法は素晴らしいと思う。そして、私はこのことを我々の教育システムに取り入れたいと考えている。

私が日本の大学で1年間過ごし、感じたことを書き留めた。これらは私に教育システムに関するアイデアや見解を与えてくれた。